

工事完成

# 国道140号（新山梨環状道路東部区間I期）道路情報表示板設置工事その2（全部債務）

工期：令和2年3月～令和3年3月 施工者：株式会社 内外

工事概要：道路情報表示板（片持式） N=2基



施工前



完成



施工前



渋滞・交通事故・気象情報などの道路における情報をお知らせする  
道路情報表示板の設置工事を行いました。

## 道路情報表示板

とは、

道路における情報をお知らせする目的で設置される表示板。

道路上の情報をお知らせするものには、

「文字情報板」・・・通行止めや渋滞などの文字情報を提供

「図形情報板」・・・道路網の模式図上に交通状況を表示

「所要時間表示板」・・・主要地点（出口や本線分岐点）までの所要時間を表示

などがあり、日本には3種類すべての情報板が存在します。どんな情報をお知らせするかは各国で異なっており、図形情報表示板を表示している国は珍しいという事が分かっています。



↑これが道路情報表示板

まずは設置場所の土について調べます。



調査中



この工事ではスウェーデン式サウンディング試験という方法を使って調べました。

その名の通り、スウェーデン国有鉄道が採用した調査方法です。この調査を行うことにより、土の硬軟、閉まり具合を判定できます。

最後に、表示板やその他設備の取り付け後、きちんと表示されるかななどのテストを行い皆様に道路情報をお知らせする準備の完了です。



情報板取り付け



周りの土を固める



支柱を取り付ける



舗装する



固めるコンクリートで

馴染みのない言葉

## 接地抵抗って？

土壤に接している電極から「大地に流れる電流」に対する抵抗の値のこと。

地球に存在する物の中でも、金属類は電力を通しやすいですが、その抵抗値と土壤の接地抵抗値を比較しても、土壤の接地抵抗値はとて大きいです。そのため、電気設備類の設置の際は接地抵抗に関する測定が必要です。

人間の体にも電流が流れます。電流の大きさによっては、大変危険です。そのため漏電した電流をより抵抗の小さい地面に流す必要があるのです。



接地棒打込み



接地抵抗測定  
D値 100Ω以下

接地抵抗を調べています。



杭の上部を機械のアームで挟み、振動で杭を入れず、地層深くまでいきます。